

無料

笑顔と笑顔の架け橋になりたい～ 日立市初公演

福祉ミュージカル公演



桃四郎

鬼退治



それぞれの胸のなか
みえない花が咲いている
それぞれ色のちがう
きれいな花が咲いている

とき

平成27年 5月10日(日) 午後2時

開場 1時30分

場所

ゆうゆう十王 Jホール (日立市十王町友部2088-1)

主催

社会福祉法人日立市社会福祉協議会
地域交流を広める市民の会

後援

日立市、一般社団法人茨城県日立市医師会、
日立市福祉団体連絡協議会

出演

NPO法人 キャトル・リーフ

※車いすで観覧されるかたは事前に電話
でお申込みください。

申込み / 問合せ ☎0294(37)1122

※当日、満席の場合は入場をお断りする
ことがありますので、ご了承ください。

ミュージカル公演に向けて

ひろはら あさよ
廣原朝代さん（地域交流を広める市民の会代表／日高町在住）は、過去に継続して約9年間の入院生活をされました。

その中で、“自分自身に闘病生活を乗り越える気持ちと生きる気力”を与えてくれた「キャトル・リーフ」によるミュージカル。

今回の公演は、日立市社会福祉協議会（市社協）が廣原さんの『闘病生活を終えたら日立市での公演を実現させたい』との強い思いに共感し、廣原さんとともに企画したものです。

この「キャトル・リーフ」によるミュージカルは、「命・つながり・感謝・絆」をテーマとした作品となっています。

開催日（5月10日）は「母の日」。大切な家族との思い出づくりに、ぜひご覧いただきたいと思います。

社協からのお知らせ

社協は、地域福祉を推進する団体として、すべての都道府県・市区町村に設置されている「法律に基づいた福祉団体」です。

子どもや子育て中のかたをはじめ、障がいのあるかた、高齢者など、誰もがいきいきと暮らすことができるよう、地域の皆さんとともに「ふくしのまちづくり」を進めています。

今回のミュージカル公演につきましては、社協会費（7月）や赤い羽根共同募金（10月～12月）、寄付（善意銀行）の一部が充てられています。

日立市民の笑顔のために、あんしん・安全なまちづくりのために皆さまのご協力をお願いいたします。

※現在、賛助会員を募集しています。



桃四郎の鬼退治

むかしむかしの物語。桃四郎は横暴な地主に命じられ、仲間の猿吉、戌彦とともに、山に住む鬼を退治に出かけます。しかし、いざ鬼たちと対面してみると、鬼はとても優しく心のきれいな存在でした。

桃四郎は、外見だけで鬼を恐ろしいものだと思いこんでいたことを反省します。桃四郎と仲間たちは、地主をこらしめ、鬼たちの暮らしを邪魔させないよう、鬼たちとともに一計を案じ、大芝居をうつことにするのですが・・・。



NPO法人 キャトル・リーフ

笑顔と笑顔の架け橋になりたい

東京医療センターで研修医となった中村明澄（理事長）が、平成12年、「入院患者さんに楽しい時間を届けたい」との思いで、大学の友人や病院スタッフを集め病院の大会議室でミュージカル公演を行った事が団体発足のきっかけです。その後、生涯現役医師「日野原重明先生」（103歳）との出会いを経て、平成13年キャトル・リーフを設立、平成21年茨城県にてNPO法人化。首都圏の病院や施設等で手話付のオリジナル作品を年間約20回上演。「いのちはめぐる」をテーマにした葉っぱの四季フレディ（日野原先生脚本）を銀座ブロッサム、十和田市民ホール（1000人）、姫路市等で公演、好評を博しています。医師・医療者・会社員・学生等のメンバーは約60名。各地の病院や団体等と連携し、日本中に笑顔の輪を広げたいと願っています。

